

# Kevin Parent

## ケヴィン・パラン：バイオグラフィー

1994 年に出した初アルバム『Pigeon d' argile』が 38 万枚という爆発的ヒットを飛ばし、ケベックの音楽シーンに彗星のごとく現れたケヴィン・パラン。同アルバムは 90 年代に最も売れたフランス語アルバムの一枚となる。ヒット曲「Nomade sédentaire」、「Seigneur」、「Boomerang」などで、ラジオやミュージックビデオのチャートを席巻。デビューアルバムのレコーディングから 1 年後、ケヴィンは ADISQ（ケベック音楽レコード産業賞）のフェリックス賞を複数受賞し、スターの座を見事つかむ。

2 枚目のアルバム『Grand Parleur, Petit Faiseur』でもその勢いは衰えず、35 万枚の売り上げ記録し、1998 年フェリックス賞の最優秀ロックアルバムを受賞。続く『Les vents ont changé』、『Retrouvailles』、『Kevin Parent』、『Fangless Wolf Facing Winter』、『Face à l' ouest』の成功により、ケヴィンは数少ないケベック出身のミリオンセラー・アーティストの仲間入りを果たし、フランス系カナダ人ミュージシャンとして確固たる地位を確立する。

2011 年、トップに上り詰めたケヴィンは新たなキャリアを切り開く。ジャン＝マルク・ヴァレ監督の映画『カフェ・ド・フロール』で役者デビュー。ヴァネッサ・パラディとエレーヌ・フロランと主演を務めて絶賛を浴びる。翌年、テレビシリーズ『Les Parents』に出演。2013 年にはアラン・チャートランド監督の『La maison du pêcheur』に出演し、2014 年にはジェイソン・ストーン監督の『殺人の啓示～死を誘う男～』でスーザン・サランドン、ギル・ペローズ、エレン・バースティンと共演する。その翌年には、ケヴィンのアイデアが基となっている長編ドキュメンタリー『L'or du Golfe』が、イアン・ジャキエの脚本および監督により完成。同作は 2016 年ケベック映画賞で最優秀長編ドキュメンタリーにノミネートされている。

ケヴィンの曲には、常にどこかで英語が使われてきた。それは単語だったり、文節だったり。曲全体が英語の場合もあれば、英語の曲だけを集めたアルバムを作成したこともある。これはケヴィンが、ケベック州の特徴的な地域の一つ、ガスペ出身であることが影響している。ケヴィンは幼い頃から、フランス語と英語の両方を使い生活してきた。だから英語の歌詞が含まれている曲を書くことは、彼にとって野望ではなく、あくまでも自然な表現方法なのである。そんなケヴィンはもちろん夢も両言語で見るらしい。



ケヴィンの最新アルバム『Kanji』は全曲英語で歌っている。長年かけて研ぎ澄まされてきた曲作りの才能が詰まっており、デビュー当時に似た情熱を感じさせてくれる作品に仕上がっている。色鮮やかにストーリーを語っている曲も多く、それは映画という世界を経験して、他の芸術形式を織り交ぜた曲作りが可能となったからに違いない。共同プロデューサーは、ケヴィン本人と、グラミー賞受賞経験のあるマルコム・バーン（U2、エミルー・ハリス、ダニエル・ラノワ）。編集はグレン・ロビンソン。『Kanji』を手にしたリスナーは、ケヴィンとの距離感が親密かつプライベートなものになっていることに気づくはずだ。他の参加者は、超一流ベーシストのトニー・レヴィン（キング・クリムゾン、ピーター・ダブリエル）、ドラマーのケニー・アロノフ（ジョン・メレンキャンプ、メリッサ・エザーリッジ、ロッド・スチュワート）など。『Kanji』はケヴィンをケベックの外へと連れ出してくれる格好の“乗り物” だと言える。

日本語版 H P : <http://artists.topmusic.jp/kevinparent>

公式 H P : <http://www.kevinparent.com>

連絡先 :

Mathieu Drouin  
Crystal Math Management  
office@crystallmath.net

Marie-Claude Lépine  
Assistant  
marieclaud@kevinparent.com  
電話番号 : +1 514 507 2835

Facebook : <https://www.facebook.com/kevin.parent.music>

iTunes : <https://itunes.apple.com/jp/album/kanji/id1117819025>



日本語版 H P